

リハビリテーション部

1 構 成 員

	平成 14 年 3 月 31 日現在
教授	0 人
助教授	1 人
講師（うち病院籍）	0 人（ 人）
助手（うち病院籍）	1 人（ 1 人）
医員	0 人
研修医	0 人
特別研究員	0 人
大学院学生（うち他講座から）	0 人（ 人）
研究生	0 人
外国人客員研究員	0 人
技官（教務職員を含む）	4 人
その他（技術補佐員等）	2 人
合 計	2 人

2 教官の異動状況

田島 文博（助教授）（H12.3.1 から現職）

美津島 隆（助手）（H13.1.1 から現職）

3 研究業績

数字は小数 2 位まで。

	平成 13 年度
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	4 編（2 編）
そのインパクトファクターの合計	2.82
(2) 論文形式のプロシーディングズ数	1 編
(3) 総説数（うち邦文のもの）	4 編（4 編）
そのインパクトファクターの合計	0
(4) 著書数（うち邦文のもの）	3 編（0 編）
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	1 編（1 編）
そのインパクトファクターの合計	0
(6) 国際学会発表数	1 編

(1) 原著論文（当該教室所属の者に下線）

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. Takashi Mizushima, Fumihito Tajima, Hiroyuki Okawa, Yuichi Umezu Kazunari Furusawa Hajime Ogata. Cardiovascular and Endocrine Responses during Cold Pressor Test in Sub-

jects with Cervical Spinal Cord Injuries. Arch. Phys. Med. Rehabil. 2002. (in press).

インパクトファクターの小計 [1.41]

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. Kazunari Furusawa, Fumihiro Tajima, Yuich Umezu, Mari Ueta, Makoto Ide, Takashi Mizushima, and Hajime Ogata. Activation of natural killer cell function in recreational athletes with paraplegia during wheelchair half marathon race. Arch. Phys. Med. Rehabil. 2002. (in press).
2. 陶山哲夫, 田島文博, 美津島隆, 大川裕行, 緒方甫。車いすマラソン参加対麻痺者と運動習慣のない対麻痺者の血圧と身体計測の比較。臨床スポーツ医学 In press.
3. 大川裕行, 田島文博, 緒方甫：頸髄損傷者と脊髄損傷者における車いすマラソン時の心拍数の比較。臨床スポーツ医学。In press.

インパクトファクターの小計 [1.41]

(2) 論文形式のプロシーディングズ

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 田島文博, 緒方甫, 美津島隆, 梅津祐一, 岡崎哲也, 上田まり, 蜂須賀研二：脊髄損傷対麻痺者における運動時体液調節ホルモン動態。パラプレジア学会誌 2001。

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

(3) 総 説

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 美津島隆, 田島文博：障害者スポーツに関する場合の注意事項－(1) 医師の立場から。MB Med Reha No.15：34-38, 2002
2. 田島文博, 美津島隆, 竹谷春逸, 山本満, 寺田肇, 緒方甫：特集心疾患・心疾患合併例のリハビリテーション処方とその理学療法／心疾患合併脊損者の訓練。Medical Rehabilitation 19：73-80, 2002.
3. 田島文博, 江西一成：脊髄の解剖・生理。Medical Rehabilitation, in press.

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの
1. 伊藤倫之, 美津島隆, 中村健, 田島文博: 自律神経異常. 総合リハ 29: 1107-1112.

(4) 著 書

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの
1. Fumihito Tajima, Makoto Ide, Kazunari Furusawa, Mari Ueta, Takashi Mizushima, Yuichi Umezumi, Hiroyuki Okawa and Hajime Ogata. Circulating muscle enzymes and natural killer cell activities during and after wheelchair full marathon race in individuals with spinal cord injuries. In Exercise, Nutrition, and Environmental Stress. Volume 1. eds Hirose Nose, Carl V. Gisolfi and Kazuhiko Imaizumi, I. L. Cooper, Traversity MI, 2001.
 2. Fumihito Tajima, Hajime Ogata, Takashi Mizushima, Taro Nakamura, and Akira Nagano. Age related-medical issues in workers with physical disabilities. In Physical fitness and health promotion in active aging. ed K. Shiraki, S. Sagawa and M. K. Yousef. pp201-212, Backhuys Publishers, Leiden, Netherland, 2001.
- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）
- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの
1. Keizo Shiraki, Sueko Sagawa, and Fumihito Tajima. Muscle Sympathetic Nerve Activity during Acute Increase in Core Temperature in Humans. In Thermotherapy for Neoplasia, Inflammation, and Pain. M. Kosaka, T. Sugahara, K. L. Schmidt, and E. Simon (Eds). Springer, Tokyo, Berlin, Heidelberg, New York. 2001, pp. 159-165.

(5) 症例報告

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの
- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）
- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの
1. 杉山宏行, 美津島隆, 広川晃彦, 中野正人, 蜂須賀研二: 歩行が自立した左大腿骨頸部骨折と右下腿切断の高齢重複障害の1症例. 総合リハ 29: 557-559, 2001

(6) 国際学会発表

1. Fumihito Tajima, Tatsuru Hata, Takashi Mizushima, Shigenobu Ishigami, Michinori Yachi, Akira Nagano. Prostaglandin E may decrease the formation of the second cerebral infarction in the initial stroke survivors with carotid stenosis. 2002 Annual Meeting, ASSOCIA-

4 特許等の出願状況

	平成 13 年度
特許取得数（出願中含む）	0 件

5 医学研究費取得状況

	平成 13 年度
(1) 文部科学省科学研究費	0 件 (万円)
(2) 厚生科学研究費	1 件 (200 万円)
(3) 他政府機関による研究助成	1 件 (100 万円)
(4) 財団助成金	0 件 (万円)
(5) 受託研究または共同研究	0 件 (万円)
(6) 奨学寄附金その他（民間より）	0 件 (万円)

(2) 厚生科学研究費

厚生労働省 21 世紀型医療開拓推進事業

(3) MOA 財団研究助成「障害者の健康管理」

6 特定研究などの大型プロジェクトの代表，総括

7 学会活動

	平成 13 年度
(1) 特別講演・招待講演回数	6 件
(2) 国際・国内シンポジウム発表数	2 件
(3) 学会座長回数	1 件
(4) 学会開催回数	1 件
(5) 学会役員等回数	9 件

(1) 学会における特別講演・招待講演

1. 田島文博：生体応答の観点からみた運動の分類と障害者の特質。藤田リハビリテーション医学・運動学研究会。2001 年 5 月 12 日。於藤田学園。
2. 田島文博：理学療法に役立つ運動生理の基礎。第 8 回静岡県理学療法士学会。2001 年 9 月 1 日，於アクトシティ浜松。
3. 田島文博：リハビリテーションに役立つ運動生理学。第 10 回久留米大学リハビリテーション研究会。2002 年 3 月 28 日。於久留米大学。
4. 田島文博，美津島隆，長野昭，大川裕行，中村太郎，緒方甫：脊髄損傷患者における体力増進の意義。第 56 回，体力医学会シンポジウム。2001 年 9 月。於仙台。
5. 田島文博：運動に対する障害者の反応（健常者の運動適応理解の一助として。）宮城県スポー

ツ医学研究会および宮城県スポーツ医学懇話会特別講演。平成13年8月25日、於ホテルメトロポリタン仙台。

6. 田島文博「物理療法の新しい考え方」第8回大分リハビリテーション医学会。2001年8月31日。

(2) 国際・国内シンポジウム発表

1. 田島文博, 美津島隆, 長野昭他: パネルディスカッション〈脊髄損傷治療の進歩と展望〉脊髄損傷患者における体力・健康維持増進とスポーツ。第74回日本整形外科学会総会。2001年4月於千葉。
2. 田島文博, 美津島隆, 長野昭, 大川裕行, 中村太郎, 緒方甫: 脊髄損傷患者における体力増進の意義。第56回, 体力医学会シンポジウム。2001年9月。於仙台。

(3) 座長をした学会名

日本リハビリテーション医学会

(4) 主催する学会名

日本車いすスポーツ研究会

(5) 役職についている学会名とその役割

1. 日本リハビリテーション学会 (臨床認定医, 専門医, 評議員, 「リハビリテーション医学」編集委員)
2. 日本生理学会
3. 日本臨床スポーツ医学会 (評議員)
4. 日本体力医学会 (評議員)
5. 日本パラプレジア学会 (評議員)
6. 日本整形外科学会
7. 日本ライフサポート学会 (評議員)
8. 日本生活支援工学会 (評議員)
9. 日本車いすスポーツ研究会会長

8 学術雑誌の編集への貢献

	平成13年度
学術雑誌編集数	2件

1. リハビリテーション医学
2. クリニカルリハビリテーション

9 共同研究の実施状況

	平成13年度
(1) 国際共同研究	0件
(2) 国内共同研究	0件
(3) 学内共同研究	0件

10 産学共同研究

	平成13年度
産学共同研究	0件

11 受賞（学会賞等）

12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

13 この期間中の特筆すべき業績，新技術の開発

14 研究の独創性，国際性，継続性，応用性

15 新聞，雑誌等による報道

1. テレホン健康相談（ラジオ）